

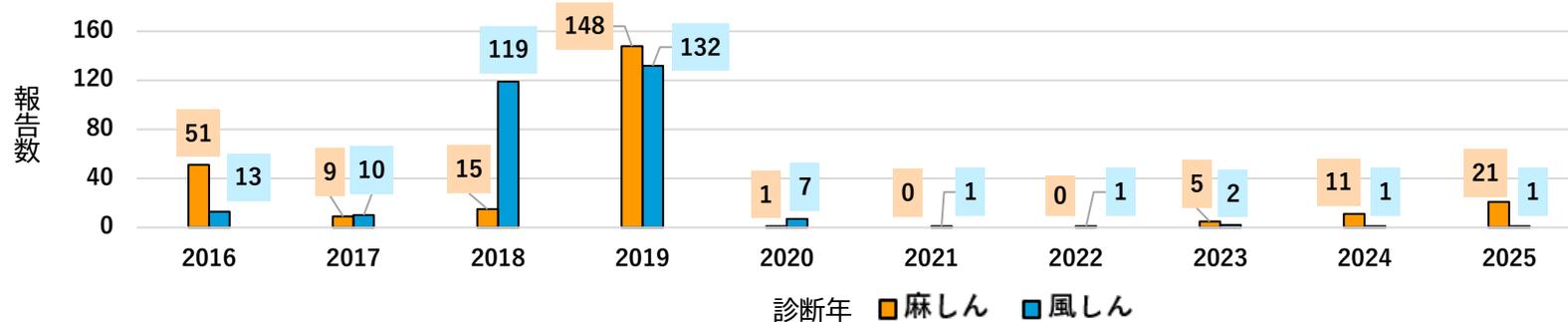
開催概要

第1回(R7.10/31)

審議事項

- 部会長の選出
- 麻しん・風しんの発生状況について
 - ・国内外の麻しん・風しんの発生状況について
 - ・大阪府内の麻しん事例の報告と対応について
- 麻しん・風しん対策について
 - ・予防接種実施状況
 - ・風しんの追加的対策
 - ・先天性風しん症候群対策

麻しん及び風しんの大阪府の発生状況



定期予防接種率

【予防接種の接種率(%)】(上段:府 下段:全国)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
第1期	95.1	97.0	97.3	99.3	94.0	99.9	93.4	95.4	96.0	93.5
	(96.2)	(97.2)	(96.0)	(98.5)	(95.4)	(98.5)	(93.5)	(95.4)	(94.9)	(92.7)
第2期	92.2	92.8	93.2	94.4	94.0	93.8	92.3	92.0	91.8	91.4
	(92.9)	(93.1)	(93.4)	(94.6)	(94.1)	(94.7)	(93.8)	(92.4)	(92.0)	(91.0)

- 予防接種法に基づく定期接種として、市町村が実施主体となり予防接種を実施。
- 定期接種率の目標は第1期・第2期それぞれ95%以上。
- 令和6年度のMRワクチンの府内接種率(第1期・第2期)は国が目標としている接種率95%を下回った。

令和7年度の主な取り組み

- **海外からの持ち込み事例に対する対応**
 - ・大阪・関西万博(2025年4月~10月)感染症強化サーベイランスを実施
 - ⇒7月 万博関連症例を採知、万博利用者へ注意喚起
 - ・外国人に向けた情報発信
 - ⇒ベトナム語でのリーフレットの作成、イベントでの配布。
- **麻しん・風しんの対策について**
 - ・国の補助金を活用し、風しんの抗体検査を実施。
 - ・風しん抗体検査の結果、風しんの抗体価が低い方を対象に、予防接種費用を助成する市町村に対する補助を実施。
 - ・HP等で予防接種に関する情報発信の実施を行うと共に、接種忘れが生じないように、SNS等を通じた注意喚起を実施。

委員からの主な意見

- **全国と大阪府の発生状況の比較及び水際対策について**
 - ・全国は大幅増加しているが、大阪ではあまり増えていない。
 - ⇒他府県での小規模集団発生が要因で増加しているが、大阪では集団感染事例は発生していない
 - ・空港での啓発の提案
 - ⇒検疫所と連携して、空港でのチラシ配布・掲示。
- **麻しん・風しんの対策について**
 - ・新型コロナの後に、ワクチン接種を躊躇する人が増えてきている印象。SNSが流行する中、あまり適切でない情報に接して、そちらに傾倒している保護者もいる。
 - ・市町村では、未接種者に対して個別に啓発を行い、接種につながるよう取り組んでいる。
 - ・学校現場では健康診断時に学校医や担任が協力し、必要に応じて未接種者に声かけをしている。
 - ・昨年はワクチンが入手しづらい時期もあったが、現在は問題なく入手出来ている。
 - ・先天性風しん症候群がここ数年出ていないことから、施策の効果があったと思う。